

D=Digital
デジタル

X
Transformation
変革

W
=,Well Being
幸福度

＼デジタル技術の活用とデジタル田園都市国家構想に係る
取組の推進を目指して／

大船渡市デジタル創生研究 プロジェクト・チーム 成果発表会

11/21(木) 13:30～ @地階大会議室

第 次

D=Digital
デジタル

X
Transformation
変革

W
=,Well Being
幸福度

- 1 開 会
- 2 概要説明
- 3 成果発表
 - (1) Innovation班
 - (2) Sustainability班
 - (3) Well-being班
- 4 懇談～デジタル推進アドバイザー・市長コメント
- 5 その他
- 6 閉 会

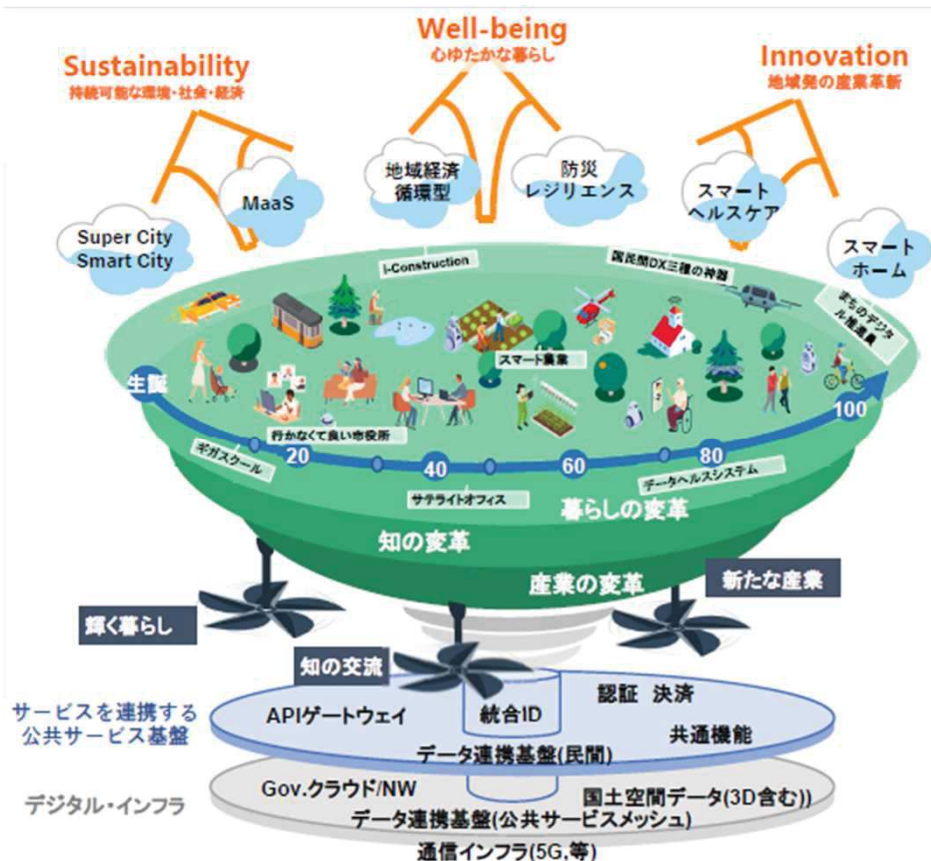
大船渡市デジタル創生研究プロジェクト・チームの設置

▶ 目的

- ・ 地域課題の解決に向けたデジタル技術の活用及びデジ田に係る取組の推進に寄与するため、令和4年度、「大船渡市デジタル創生研究プロジェクト・チーム（※）」（以下「PT」という。）を設置。
- ・ 令和5年度以降も、引き続き設置。

※デジタル×地方創生を略した造語で、デジタルの力を活用した地方創生に取り組む意図を明確化。

〔デジ田の取組イメージ（デジタル庁）〕



〔デジ田に係る当市の取組の概要〕

デジタルネイティブ世代の活用

- ・ 係長・主任・主事級職員を中心とした**研究プロジェクト・チーム**の立ち上げ
- 庁内職員22人で構成
- ※事務局：デジタル戦略課

外部人材の活用

- ・ 総務省地域情報化アドバイザーや、県ICTアドバイザーによる助言
- ・ **大船渡市デジタル推進アドバイザー**の設置

セミナー・研修の開催

- ・ 総務省地域情報化アドバイザーによる職員向け、市民・事業者向けのセミナー
- ・ 大船渡市デジタル推進アドバイザーによる若手職員向け研修

PTの活動内容等

▶具体的な活動内容

- ・大船渡市デジタル推進アドバイザーの協力を得ながら、デジタル技術を活用した先進的な事例の研究、当市の課題の掘り下げ、課題解決のためのアイディア出しを通じ、デジタル活用、広くDXに関する取組を検討。

■PT会議

日程			日程		
第1回	5/22	済	第5回	9/25	済
第2回	6/25	済	第6回	10/24	済
第3回	7/19	済	成果発表会	11/21	
第4回	8/22	済			

■PT会議以外の取組等

日程	内容	日程	内容
4/12	生成AIセミナー	10/21.22	先進地視察(相模原市ほか)
7/24	ジチタイワークスセミナー	10/25	商工会議所青年部との意見交換会
8/28.29	先進地視察(大崎市ほか)	11/12.13	先進地視察(ソフトバンク本社、板橋区ほか)
9/26	生成AI体験講座		

令和4年度の研究成果／おおふなと版窓口DX

- 令和4年度、**全てのグループ**（Well-being班、Sustainability班、Innovation班）が次の**二つの窓口改革（案）**を提案。

窓口改革（案）

- I **書かない × ワンストップ**窓口の実現
- II **行かない**窓口の実現



提案を受け、デジ田交付金に手上げ➡採択され、令和5年度から**おおふなと版窓口DX**に着手、書かない×ワンストップ窓口の導入、カウンター・サイン表示の更新、窓口環境の整備等を実施



PT成果発表会の様子
(令和4年12月2日)



令和5年度の研究成果／おおふなと版窓口DX

- 令和5年度、**市公式LINEの機能拡充**（Sustainability班、Well-being班）、**生成AIの業務活用**（Innovation班）を提案。

04 LINEの充実

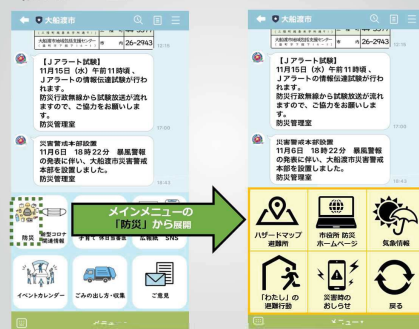
リッチメニュー案



- 申請手続き
 - 防災情報
 - 検診予約
 - ゴミ
 - 子育て
 - 施設予約
 - 学校
 - 相談、問合せ
- 返信の自動化

Sustainability班

2 LINEメニュー機能拡充 防災メニュー



Well-being班

～「生成AI」の活用方針まとめ～

★使い方によって業務効率を飛躍的に向上させることができる可能性を秘めている！

★ただし、職員やシステムそのものを置き換えるものではない！あくまで手助けしてくれる「支援ツール」である

AR★万能の技術ではない…正確性やリスクを十分に考慮した上で利用する必要がある

Innovation班

提案を受け、市公式LINEの機能拡充について、公共施設予約システムの更新とあわせ、デジ田交付金に手上げ➡採択され、令和6年度、デジタル戦略課で導入に向けて取組を推進中



Sustainability班の発表の様子
(令和5年11月24日)



Well-being班の発表の様子



Innovation班の発表の様子

PTでチャレンジしていること！

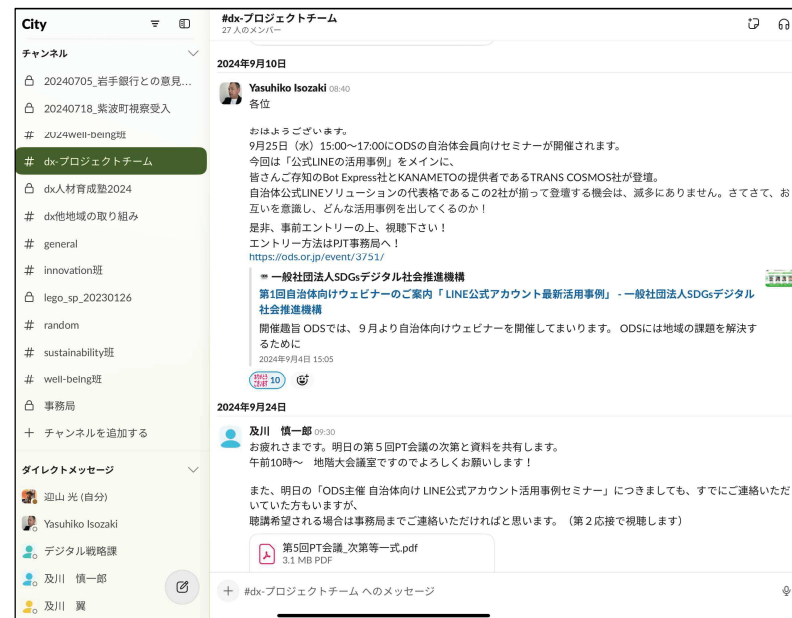
- ・コミュニケーションツール・slackを活用した、**リアル会議前の情報交換**や、**先進自治体の情報収集**のほか、**外部との意見交換等**を行いながら、**デジタル推進アドバイザーの助言**も受け、研究にチャレンジ中。

→DとX、二方向で取組を推進！



▲商工会議所青年部との意見交換(R6.10.25)▲

上／slack(デジタル推進アドバイザー+PTメンバーで運用)
下／先進地視察(神奈川県相模原市)



「我々は**何**を目指すのか？」

誰も経験したことがない人口減少・少子高齢化の進行

将来の大船渡市に大きな**危機感**

～**持続可能な（Sustainability）行政経営**への転換～

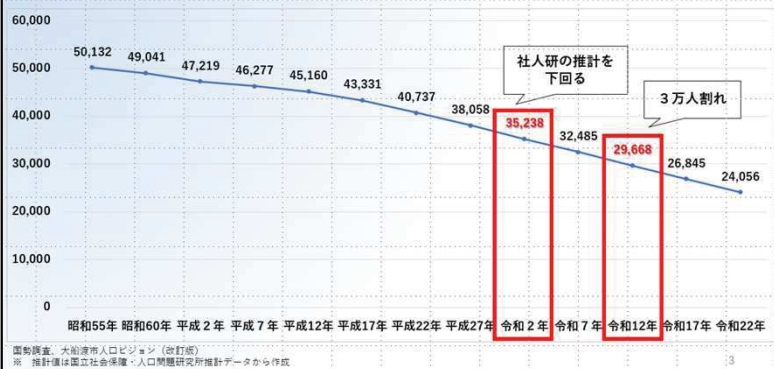
裕福さを求める社会から**幸福**を目指す社会への転換と対応

～**well-being**（心ゆたかな暮らし）の向上～

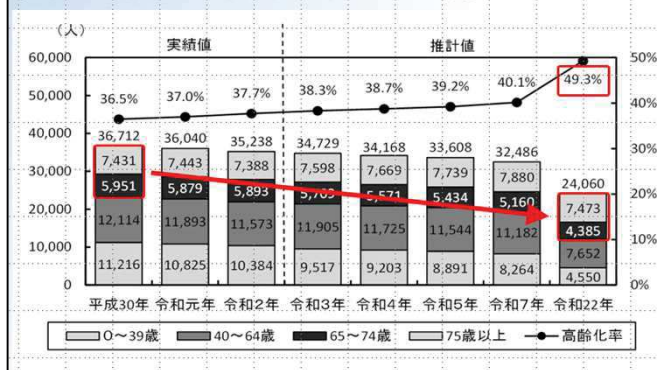
デジタルの力で市民・事業者・市役所の**幸福度** 

～課題解決と魅力向上の取組を加速化～

人口は減少し、令和12年度に3万人を割る



令和22年には市民の半分以上が高齢者



今は令和だ脱昭和



大崎市役所1階窓口イメージ図

PTの取組の先にあるもの ※PT第2次報告〔抜粋、令和5年度〕

08

大船渡市のこれから



全職員の**X**が必要
地域全体の**DX**を推進

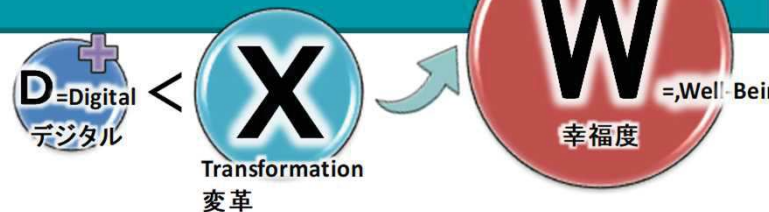
マインドのトランスフォーメーション
(変革)が必要

～「生成AI」の活用方針まとめ～

★使い方によって業務効率を飛躍的に向上
させることができる可能性を秘めている！

★ただし、職員やシステムそのものを置き
換えるものではない！あくまで手助けして
くれる「支援ツール」である

★万能の技術ではない …正確性やリスク
を十分に考慮した上で利用する必要がある



5 まとめ



様々な「副次効果」が生まれる = **DXの根幹部分**
多様な副次効果が市民、職員、そして事業者
のWell-beingに…

＼ 成果発表会の流れ ／

①各班の発表は**20分程度**で、発表順などは次のとおり。

- ・ **Innovation班／生成AIの業務への利活用**
- ・ **Sustainability班／シティプロモーション×DX**

※認知度の向上～デジタルマーケティングを中心に～

- ・ **Well-being班／シティプロモーション～魅力度の向上～**

※魅力度向上の観点からのシティプロモーション～

②各班の発表後、**質疑応答**（5分前後）。

③磯崎・デジタル推進アドバイザーには、各班の発表が終わった都度、コメントをいただきます。

④三つの班の発表終了後、懇談へ移行します。

⑤まとめとして、磯崎・デジタル推進アドバイザー、市長からコメントをいただきます。